

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1 年次生 N.N

はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受け、3月6日～16日の間 North Coast TAFE kingscliff campus での薬学語学研修に参加したため、報告させていただきます。TAFE は大学とは異なり、薬学や調理、コンピュータなどについて専門的に学ぶことができる訓練校です。

学校生活

午前中に英語、午後に薬学・アボリジニについて学びました。

English Class

内容は堅苦しいものではなく、伝言ゲームなどのゲームを通して学ぶことができたため、とても楽しかったです。日本では文法やリーディングの授業が多く、スピーキングの練習があまり出来ませんでした。今回はたくさん練習できたことが良かったです。この授業では海で楽しむ時の注意事項やアボリジニの歴史・文化、手紙の書き方などを学びました。オーストラリアならではの内容が多く、様々な知識を吸収することができたことが嬉しかったです。

Pharmacy Class

オーストラリアの薬剤師や医薬品について学ぶことができたことが良かったです。脱水の症状がでた時に使用する医薬品などを服用することができ、良い経験が出来ました。しかし、内容を完全に理解することができなかつたため、もっとリスニングができるように勉強しなければいけないと思うきっかけになりました。

2日目には、グリフィス大学に訪問しました。プロジェクターを壁一面に映すことができたり、表示されたウイルスなどの物体を手で回転させたり、移動させたりできるハイテクな授業を行っていただき、とても面白かったです。また、多くの薬を服用している患者さんが薬を適切に管理できるようにするためのものを作りました。カバーをしわなく貼ることは難しかったですが、何とか仕上げることができました。日本ではケースなどを使用することが多いですが、オーストラリアでは PTP 包装シートのようなものを使用しており、時間ごと、曜日ごとなどで自由に切り離すことができ、便利だなと感じました。



図 1 グリフィス大学での集合写真

アボリジニ

7日目に実際にアボリジニが住んでいる森へ行き、文化や生活について現地の方から教えていただきました。かばんを編むのに使う植物や実際に食べている実、毒のある実、薬として使用する植物、家など多くのことを紹介していただきました。最後には近くのビーチで写真を撮ったり足を海につけたりすることができ、楽しかったです。

ホームステイ

ホームステイでは Routledge 夫婦にお世話になりました。猫を飼っている家庭で、心地の良い空間でした。朝ご飯では、トーストやシリアル、フルーツをいただきました。ベジマイトなどオーストラリアでしか味わうことのできない食べ物をいただくことができ、良い経験になりました。

休日には、CURRUMBIN WILDLIFE SANCTUARY という動物園やビーチへ連れて行ってもらいました。動物園では、実際にカンガルーに触れたりコアラを抱いたりすることなど、日本ではできないようなことを経験できたことが楽しかったです。また、園内にある動物病院で手術をしているところを遠くから見ることができ、良かったです。



図 2 ビーチ



図 3 カンガルー

最後に

この薬学語学研修を通して、英語の未熟さ、オーストラリア人の温かさなど実際に行ってみないとわからないようなことをたくさん感じることができました。この経験を活かして今後の英語の勉強や生活に役立てていきたいです。このような機会を与えてくださったことに感謝しています。



図 4 TAFE での集合写真